

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	サンキウエルビィ 株式会社	代表者	並木 寛	法人・ 事業所 の特徴	「福祉事業を通じて地域社会に貢献する」という企業理念のもと、地域包括ケアの中のセイフティネットを目指し、泊り・通い・訪問のサービスを十二分に活かし柔軟な対応で工夫しながらその人らしい生活の維持ができるよう努力している。毎月の研修や意見交換を行いサービスや質の向上を目指している。				
事業所名	小規模多機能センター大崎	管理者	瀬島 由美子						

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	4人	1人	0人	1人	0人	4人	0人	8人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	職員の考え方や実践について、話し合いの時間を持ち共有する。 (月1回の拠点会議)	スタッフ全員での評価はできましたが個々の考え方の差が出てしまった。	全般的に改善計画自体は達成可能な計画であったと思われるが、内容等に対し見直し振り返りも同時に必要であると思う。	情報の共有化と地域資源の活用と理解。
B. 事業所のしつらえ・環境	ご利用者様とスタッフで考えた行事を月1回開催していく。	事業所内ではあったが夏祭り・敬老会・クリスマス会など四季折々のイベントが開催できた。四季を感じられるようなレクリエーションができた。	施設内の「ひな祭り」の飾り付けで季節感を感じた。	月1回の行事を年末にかけて利用者様の思いで作りとしてスライドショーを開催する。
C. 事業所と地域のかかわり	公民館と協力し行事を開催する。	地域文化祭・マルシェ・どんど祭り等地域行事に参加することができた。	地域との関りに対して、具体的な項目、内容を考えて計画的に実施したらどうか?	公民館と協力して行事を開催する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	ご利用者それぞれの環境を日常のかかわりの中から引き出し、スタッフで共有する。	日々の利用者様の日課活動を通じて体調に異変等有れば直ぐに情報共有を行う取り組みは出来た。	地域資源をもっと活用したらどうか?	地域の見学者の受け入れや地域行事の参加等を通じて地域との繋がりを持つ。
E. 運営推進会議を活かした取組み	2か月に1度の開催を継続し、地域の方にセンターでの活動を知つていただく。	各関係者様に事前連絡を行う事で、開催もスムーズに行う事が出来た。	活発な意見が出て良い会議となっている。 事前連絡等有り、良く出来ていると思う。	地域・行政の意見も取り入れ情報の共有化を図る。
F. 事業所の防災・災害対策	非常災害時の対応についての理解を深める。	コロナ禍の中防災訓練に参加することができなかった。非常災害時についての対策が進められている。	今後に於いて、災害時、家での生活困難な時サンキ利用が増加すると思われる為、事前にシミュレーションをしていたらどうか?【軽度～重度の人選別】	地域の防災訓練・研修等有れば積極的に参加し施設の質の向上に努めたい。